

自己受け入れる手助けを 思春期の性同一性障害

チェック



🔍 クリックすると、検索結果一覧に戻ることができます >>

性同一性障害（G I D）のため今春から女子として中学校に通う兵庫県播磨地方の男子生徒に対し、抗ホルモン剤の投与で第2次性徴を抑える治療が今年2月、大阪医科大ジェンダークリニック（大阪府高槻市）で始まった。このほど東京都品川区で開かれたG I D学会研究大会のシンポジウムでは、男子生徒の主治医が経緯を説明。同様に思春期を迎えたG I D患者への対応をめぐり、医療や教育、親の立場から現状が報告された。 播磨地方の男子生徒は小学校入学時から女兒として通学。中学校進学を前に抗ホルモン剤を定期的に投与し、思... [\[記事全文\]](#)